

令和7年度（2025年度）大分大学グローバル感染症研究センター  
研究集会報告書

採択番号	2025M02	
申請者に関する事項	氏名	神谷 元
	所属機関名	三重大学大学院医学系研究科 公衆衛生・産業医学・実地疫学分野
	職名	教授
研究集会名	ロタ研究班小会議（ロタウイルスワクチン定期接種5周年会）	
開催期間	令和7年（2025年）10月1日	
本センター担当教員	河本 聡志	
<b>令和7年度（2025年度）研究集会の概要</b>		
<p>ロタウイルスワクチンが定期接種化されて5年を迎えるにあたり、国内外の疾病負荷、ワクチン導入効果、並びに流行株の遺伝子型推移を俯瞰し、今後の分子疫学サーベイランスと予防接種施策への還元を目的として研究集会を開催した。</p> <p>世界的には乳幼児重症胃腸炎の主要原因であり、ワクチン導入により入院・救急受診が大幅に減少している一方、遺伝子型の多様性と変遷が続く。</p> <p>国内では2020年度以降患者数が激減したが、近年は非定型株（G3P[6]、G3P[9]等）の検出が報告されている。</p> <p>研究班が収集した2024年度の検体解析では、大阪府でG8P[8]株による小流行が確認され、PAGE解析により同一株による流行が示唆された。また、VP7/VP4の系統樹解析から中国のDS-1-like G8P[8]株との近縁性が示され、全ゲノム解析（特にVP1遺伝子）による由来解明を今後の課題として共有した。</p> <p>併せて、検体回収データ・協力施設ネットワークの整理を行い、低流行期においても継続的に検体収集・解析を行う体制強化の方針を確認した。</p>		